持続可能な魚沼農業を目指し4つの課題解決に向けた取組について紹介します！

●農業人材の確保・育成に向けた地域の受入体制づくり

　100年継続を目指すユリ切り花産地では、新規就農者等の確保に向けた受入体制の仕組みづくりに重点的に取り組み、就農希望者が定着できる環境づくりを目指します。

＜主な取組＞

○将来を見据えた農地利用想定マップの作成と新規就農者の受入ほ場の検討
○研修生を受け入れる師匠農家の育成や経営発展モデルの作成
○担い手受入体制整備に向けた研修会の開催

産地の維持・発展に向けた担い手を考える会で「津南町（農）友里」を視察

地域おこし協力隊制度についての勉強会

●力強い農業構造の確立と中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり

　長松集落の将来プランの実践を後押しするため、地域内の法人連携によるドローンでの共同防除体制の強化を進めます。
　さらに地域で問題となっている鳥獣被害対策について「農村集落の新たなチャレンジ支援事業」を活用しながら、新たな営農体制の構築に向けた取組を支援します。

＜主な取組＞

○ドローン共同防除、受託組織の体制強化
○新たな営農体制構築に向けた検討
○鳥獣被害の実態把握と対策検討

営農体制の検討（長松営農未来の会）

ドローン共同防除体制の強化

●収益性の高い魅力ある農業経営体の育成

　普及センターでは、ユリ切り花＋促成山菜の農業を営む7経営体を対象に、園芸販売額1億円を超える経営体の育成を、産地の発展とともに関係機関・団体と連携して支援してまいります。

＜主な取組＞

○園芸販売額1億円超を目指す経営体の「経営計画」の作成から実践までの取組を支援
○ユリ切り花、促成山菜の産地発展ビジョンの策定・実践の支援
○試験研究機関と連携したユリ切り花、促成山菜の高温対策技術の実証

園芸拡大重点経営体との意見交換会

寒冷紗の設置によるうるいの高温対策

●収量・品質確保と生産性向上による魚沼米ブランド力の強化

　異常高温が常態化する中、「魚沼米」の収量・品質を維持するため、後期栄養確保対策等の実践に向けた情報を発信するとともに、直播栽培の導入、ドローン等のスマート農業技術の活用による作業補完体制の構築を推進し、魚沼米の安定生産に取り組みます。

＜令和8年度重点技術対策＞

※うち最重点技術対策は①②③

① 生育診断に基づく穂肥の確実な施用で後期栄養確保
② 登熟向上のための飽水管理で後期栄養維持
③ カメムシ斑点米等の病害虫防除の徹底
④ 気候変動に対応できる土づくりの実施と根域の確保
⑤ 健苗育成とコシヒカリの作期分散
⑥ 適期中干しの実施（大柄にしないイネづくり）

のぼり旗による情報発信！

不耕起V溝乾田直播研修会